

【テーマ3】 国立大学法人京都教育大学

「教員育成指標の達成のための教員研修の効果を検証する汎用的システムとWeb動画コンテンツ開発に関する検証的研究」

調査の概要

◆課題認識

教員研修会において主催者が期待する意図と受講者である教員の受け取りにずれが生じており、それを解消したい。

◆調査研究の目的

- ・教員研修会でのずれを実証すること
- ・ずれを解消する研修用Web動画作成

◆調査研究の方法

- ・ずれを実証する→Web動画の作成

◆調査対象

- ・京都府総合教育センター主催研修受講者
- ・小学校教員236名、中学校教員170名

◆研修の概要

- ・研修講座：①初任者研修「生徒指導」講座
②中堅教諭等資質向上研修「共通」講座
- ・受講者：①初任者234名(小学校136名・中学校85名)
②中堅185名(小学校100名・中学校85名)
- ・研修の特色：センターにおいて研修を実施

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①ポイントA

- ・これまで体験的に扱われていた研修会アンケート結果を質的分析ソフトを利用して客観的に分析
- ・エビデンスを用いた改善策提言へ

②ポイントB

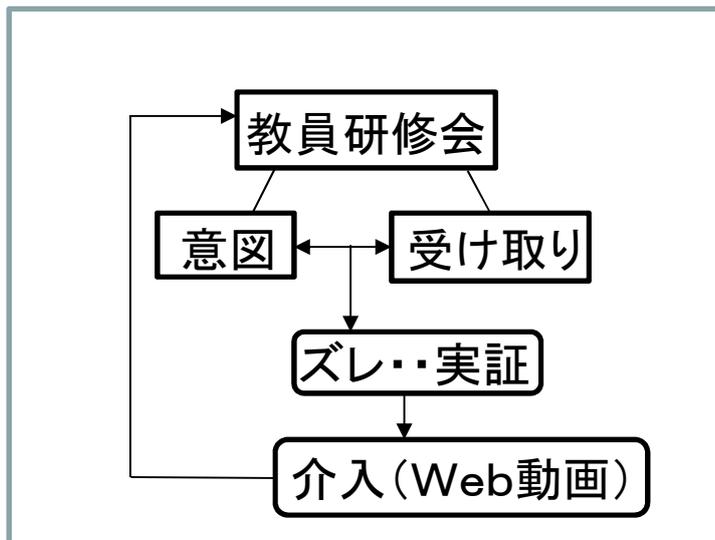
- ・これまで担当者がみていただけだったデータを関係者全員の共有財産へ
- ・大学と教育委員会の連携へ

③ポイントC

- ・これまで口頭や文書による説明だった主催者の研修意図説明をWeb動画へ
- ・簡便なWeb動画視聴を可能に

◆成果

- ・これまでエビデンスがないことが課題となっていたが、質的分析を行うことで、エビデンスに基づいて教員研修におけるずれを実証し、それに基づく対応ができるようになった。
(主催者が期待する研修で学んでほしい6つの観点について、受講者が受け取っていたのは、30.9%-11.1%の範囲内に収まっていた。平均回答数は、1.1観点であった。)
- ・研修前に視聴することで、主催者の意図を汲み取ることを目指したWeb動画を京都府総合教育センターと連携して9本作成し、今後の研修会で利用することとなった。



今後の課題

◆「教員研修」の支援

- ・京都府総合教育センターとの連携により、研究を継続（「教科」に関する研修、他校種）
- ・Web動画の活用による研修効果の向上の検証

※ 上記項目については一例であり、適宜変更してかまわない。

※ 別紙イ-②については、文部科学省において公表する。